



はやま

平成29年(2017年)

3月号

No.564

◆今月の表紙

防災特集	… 2	町からのご案内	… 16
はやま NEWS	… 8	でんごんぱん	… 18
子育てひろば	… 10	サクラを植えました	… 21
健康情報	… 12	葉山いろいろ写真館	… 22
教育委員会だより	… 14	町長コラム	… 23

(表紙写真：葉山しおさい公園のカワツザクラ)



いい？

「防災」について真剣に考えてみよう

東日本大震災を教訓とし、全国的に地震・津波・風水害などへの対策が見直されてきました。しかし昨年4月の熊本地震、また新潟県糸魚川市での大規模火災など、新たな課題も浮き彫りになってきています。町でもいつ同じような災害が発生するか分かりません。どんな災害にも対応できるよう、今一度防災について考えましょう。

(防火については9ページをご覧ください)

自分の命を守るのを最優先に

葉山町防災安全課 穂積 隆喜 課長

まずは命を守る1つ

災害時には、近隣との助け合いや、場合によっては避難所での生活が必要になります。しかし、それは命があつてこそのことです。

東日本大震災の「釜石の奇跡」では、地震が起きたら各自が急いで高台に逃げるという教えが生かされました。日頃から家族で「災害時はお互い自分の安全を確保してから連絡をとりあう」などと決めることが大切です。

まずは命を守るよう、家具の配置や避難経路を確認しましょう（家屋の安全については5ページへ）。

情報をとりこむ

災害時、町からは防災行政無線などで情報を発信しますが、天候等によって聞き取りづらいこともあります。自分から積極的に情報を収集する習慣をつけましょう（無線については5ページへ）。

また、町からの情報だけでなく、自分自身で判断することも重要になってきます。

防災訓練に参加

頭では理解していても、いざという時に実際に動くことは難しいので、町内会や町の防災訓練に積極的に参加して、経験を重ね、慌てることなく動けるようにしましょう。昨年の総合防災訓練には、300人以上の町民の皆さんが参加しました。来年度も実施予定ですので、子どもやペットと一緒にぜひご参加ください（詳細は広報などでお知らせします）。



防災特集

もしものとき どうすれば

地震

地震はいつ来るかわからないものですが、関東や東海地域では、今後必ず大地震が起こるとされています。



ここを 確認！

- ・まずは自分の身を守ることが最優先
- ・常に「もしも今地震が起きたら」を考える

津波や高潮

地震の大きさによっては、葉山町では最大11メートルの津波が起こり、到達時間は短いと7分という予想です。



ここを 確認！

- ・沿岸部の人はすばやく高台へ避難する
- ・町の防災行政無線や警報を待たずに自分で判断

葉山町で想定される災害とは？

土砂災害



葉山町には多くの山があり、台風や大雨により、がけ崩れや土石流などの土砂災害が発生する可能性があります。

ここを 確認！

- ・日頃から気象情報の確認をして発生を予測
- ・雨風が強まってきたら、避難情報を確認

大雪など



町では雪が降る回数は少ないものの、2014年2月のように、一度降ると大雪になる可能性があり、注意が必要です。

ここを 確認！

- ・予報が出たら、食料の備蓄と停電対策
- ・除雪や雪下ろしは必ず二人以上で行う

私がもしものときに 備えて行っていること



避難所の運営は避難者でやる！ 宿泊型の訓練で課題が見えました

昨年11月、一色小学校で宿泊型の総合防災訓練を行いました。

私はそこで避難所運営委員長を務めました。停電を想定した暗くて寒い体育館で、避難住民を名簿で管理し、それぞれに役割を与えて皆さんと運営を行いました。一泊の訓練であっても様々な課題が見えてきました。

まず、皆さん避難してきた時は「避難所に行けば食料などはあるし、誰かが運営してくれるもの」という意識が強かったです。しかし、トイレ用の水をプールから運ぶバケツリレーや救援物資の受入れなどを協力して行

うことで、「避難所は避難者みんなが運営するものだ」ということが、参加者に浸透していききました。

まだまだ課題はありますが、避難所運営を経験できたことが何よりも良かったです。皆さんも、日頃から地域の防災訓練に参加し、「自分たちができること」、「やらなくてはならないこと」を一緒に考えていってほしいと思います。



一色第1町内会
鈴木 洋祐 会長

女性防火防 災クラブ

に入会して9年目ですが、いつも楽しく学んでいます。入る前は何もわからず、「消火活動なんて出来ないし、訓練も難しい」と不安でした。しかし実際は年6〜7回の訓練で消火器やAEDの操作方法を学び、『見たことのあるけど触ったことのないもの』が使えるとわかって、自信につながりました。



女性防火防
災クラブ
野々山 住子 会長

て協力しやすいので、『楽しみながら学ぶ姿勢』を大切にしています。

皆さんどうしても防犯に比べて防災の意識が低いようです。しかし、クラブをきっかけに「住宅用消火器や火災警報器を買った」、「備蓄を始めた」という声が聞けるのは嬉しいです！少しでも女性防火防災クラブで経験し、家族や近隣の人へ防災意識を啓発してもらえたらと思います。

女性防火防 災クラブでの経験が いざというときの自信につながる

避難準備



非常用持出し袋を準備しましょう。食料や生活用品以外にも常備薬や赤ちゃんのミルク、おむつなど、袋の中身は各家庭によって異なります。自分だけの非常用持出し袋を作りましょう。

また、食料と飲料水は最低3日分を備蓄してください。自宅で簡単にできる災害への備えとして、日常で使う食料を少し多めに購入し、賞味期限が近いものから消費し、買い足すローリングストックという備蓄方法もあります。詳しくは、3月末に配布する『防災ガイドブック』をご覧ください。

家屋の安全



阪神・淡路大震災では、古い木造住宅が数多く倒壊し、多くの人が犠牲となりました。建ててから年数が経過した家屋の場合は、積極的に耐震診断を受けて、必要であれば早めに改修しましょう。民間木造住宅の耐震補助などについては、都市計画課(☎内線354)までお問い合わせください。

また、地震で家具が倒れて避難出口をふさぐことのないよう、寝室などで物が体に落ちてこないよう、日頃から家具を固定するなどの安全対策も必要です。

防災無線



防災行政無線が聞こえにくい場合に備え、様々な情報入手手段を確認しておきましょう。

①テレホンサービス

☎0800-800-7667へ電話すると、無線の放送内容が確認できます。

②防災情報メール

✉bousai-hayama-t@ktaiwork.jpに空メールを送信して事前登録すると、放送時にメールが届きます。

③湘南ビーチFM(78.9MHz)

④町HP(ツイッター)

★今後は、テレビ配信に向けても準備中です(決まり次第、広報などでお知らせします)

講演会参加



東日本大震災の発生から6年が経ちましたが、常に防災意識を強く持つために、防災講演会を開催します。

演題 大規模災害の人間行動

～災害を生き抜くために～

日時 3月12日(日)

10時～12時

場所 教育総合センター

2階研修室

定員 120人(申込み制)

講師 加藤 健さん

(防衛大学校准教授)

問合せ・申込み

防災安全課 ☎内線396

もしもに備えてこれだけはやっておこう



ペットは大切な家族。
避難所で一緒に過ごすのが
当たり前ですよ？

うちの子は、いつも大人しいから避難
所でも良い子でいられます。だから一緒
に避難して問題ないですよ？



日本人の3人に1人はペット
が苦手だと言われています。
周りに迷惑をかけないように

人が過ごす避難所にペットは入れませ
ん。別の場所ですケージに入れて管理され
ます。「ケージに入れるなんてかわいそ
うだから、外につないでおきたい」と言
う飼い主さんも多くいますが、犬や猫は
暗くて狭いところのほうが安心し、他の
ペットとのトラブルも起きません。
人もペットも安心して過ごせる避難生
活を心がけましょう。

ペットの防災 Q&A



防災グッズは必要？
避難所にエサは
ありますか？

避難所に行けば食料もあるし、すぐに
救援物資も届きますよね？



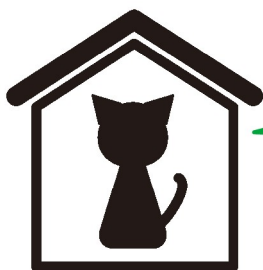
エサはありません！
第1次・第2次避難と
用意してください

避難所の食料は、人を対象としたもの
で、救援物資も避難所の規模によっ
てはなかなか到着しません。まず第1次避難
をする時に、2~3日分のエサ・水・折り
たたみ食器・トイレ用品・新聞紙や雑
巾・丈夫な首輪とリードなどを準備しま
しょう。また避難所でケージの貸出しは
ないので、自分で用意しましょう。



日頃のしつけや
家の中のこと
で気をつけることは？

猫も犬も好奇心が旺盛なので、自由に
外へ出られるようにして飼っています。
災害時が不安ですが、対策はありませ
んか？





ペットが苦手な人に理解してもらうにはどうすれば良いですか？

噛んだり吠えたりしないので、怖がらないでほしいです。ペットと触れ合えば、苦手な人も慣れてくれますよね？



**日頃のマナーは大丈夫？
放し飼いや排泄物の処理など
飼い主の責任を持つとう**

ペットが苦手な人は、日頃から飼い主のマナーをきちんと見ています。リードをつけずに散歩したり、放し飼いにして排泄物を処理しなかったりすることはありませんか？

共同で避難生活を送る際、ペットのことを理解してもらえらるるように、日頃からペットを甘やかさず、飼い主として責任を持つことを忘れないでください。



ペット友達と話しておくことはありますか？

ペット友達はあるけど、防災について話したことはないな……。



私がお答えします



BOW・WAN ボランティア
渡辺 智子さん

町内には、犬や猫などのペットを飼っている世帯が多くあり、昨年11月の防災訓練では、「ペットとの同行避難」、「ペットの宿泊訓練」を行いました。そこで参加者からペットの防災に関する質問があったので、よくある質問などとあわせてご紹介します。



**避難所での運営は自分たちでやる！
どうしたい？**

避難所でペットを管理してくれる人はいないと思ってください。そのため、飼い主たちが日頃から避難所での管理方法話し合っておく必要があります。「ペットの管理をどうしたいか」、「そのためには何が必要か」、「管理は当番制にするのか」などをあらかじめ決めておきましょう。



**猫や犬は室内飼いが基本。
災害時に行方不明にならない
ためにきちんと管理を**

猫は自分の縄張りを作り、その中で暮らします。はじめから家の中だけを縄張りにさせることで、災害時に行方不明になる可能性は減ります。

また、室内で飼う犬は自由にさせておくのではなく、ケージに入れて飼いましよう。地震で物が落ちてきたとき、ケージの中にいることで助かった犬は多いです。しかし、火事で逃げられるように、フタは開けられるようしておくのがポイントです。